

40301一般貨物自動車運送業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	5~6	低温仕分け室にて、ベルトコンベアを流れてきた荷物を取り込もうとしたとき、ベルトコンベアと回転ローラーとの継ぎ目にある約3~4cm幅の隙間に、ベルトコンベアと回転ローラーの回転によって、右手が吸い込まれる様にして挟み込まれてしまった。	52	7	224	100 ~ 299
2	2017	12	17~18	乗客の荷物をトランクに入れ、残りの荷物を後部座席に入れるため前に回ろうとしたとき、自車の車止めに足が躓き、転倒を免れようとしたときに腰を捻った。翌日、痛みが続いたため病院を受診したところ、第3腰椎圧迫骨折と診断された。	64	19	921	300 ~ 499
3	2017	12	16~17	自社倉庫内で荷積み作業をしているとき、右足を捻った。その際、右足に違和感を抱いたが、その日はそのまま作業を続けて一旦帰宅した。翌日も痛みが治まらず、腫れ上がっていた。	52	19	921	10 ~ 29
4	2017	12	9~10	常温センター内にて、重ねて畳んである車輪付き空カーゴ（1m四方、高さ1.8m、重さ5kg）台車4台のうち、前の2台を移動させようと2台を同時に両手で前へ引いたところ、後ろの2台が倒れてきた。倒れてきた2台を右手で支えようとしたとき、重みに耐えきれずそのまま台車と台車の間に右手を挟み、右手首を骨折した。	59	7	362	100 ~ 299
5	2017	12	9~10	工場構内で、トラック後方ゲートを少し下げた状態で荷台から降りようとしたところ、雪ですべて足がゲートの隙間に入り	41	1	221	30 ~

				左足脛を痛めた。				49
6	2017	12	14~15	最終便に於いて、連絡道路に進入する際に、歩行者が横断中のため横断歩道手前で安全確認中に追突された。 ※被災者A：頸椎捻挫・腰部打撲 被災者B：頸椎捻挫・腰部打撲・両肘打撲	31	17	231	500 ～ 999
7	2017	12	19~20	構内のベルトコンベアのコーナー付近にて、小物を仕分け中、一斗缶がベルトコンベアから落下しそうになった為、左手を差し伸べて支えたところ痛みが生じた。	38	19	224	100 ～ 299
8	2017	12	6~7	中央卸売市場内、当社センター建物西側、積込作業用駐車場で、トラック車両乗務席で待機中、トイレへ行こうと降車し、駐車場内を歩行中、足元が滑り、転倒した。当日は朝から雪が降り、アスファルト路面にて2~3cmの積雪があった。後ろへ倒れるように左腕から着地し、左手首を負傷した。運転業務を継続し、会社へ戻るも、痛みがひどくなり、病院で検査を受け、骨折と診断された。	44	7	719	100 ～ 299
9	2017	12	15~16	自社倉庫内で作業を終え、トラックに戻る際、足を滑らせ転倒した。その際に左腕を床に着いた為、腕に痛みが走った。腕がしびれ痛いので念のため病院へ行きレントゲン検査の結果、骨に異常はなく筋の痛みとの事だった。	47	2	719	50 ～ 99
10	2017	11	23~24	納品作業中の店舗で空台車を回収作業している時、突風にあおられて台車が倒れて来た為、台車が右足に接触してしまい、右親指を骨折してしまった。	47	6	719	1~ 9
11	2017	11	11~12	ダンプから材料を下ろして当社場内の坂道を移動中、荷台を上げたまま移動していたことに気付くのが遅れ、坂の途中にあるシャッターゲートに荷台が接触し、シャッターが壊れて部品がダンプに落下した。その反動で運転室内にて身体を打って負傷した。	57	17	221	1~ 9
				荷下ろし中、ホーム（約1.5m）から荷物が落下したため拾おうと思い、トラックのステップに片足を掛け約40cmの高さから降				100

12	2017	11	2～3	りた際、ホーム下の段差に気付かず右足を捻り、右膝前十字靭帯、側副靭帯を損傷したものである。	52	3	413	～ 299
13	2017	11	20～ 21	配送センターにてトラックをホームに接車し、ホームの階段を上がり柱とホームの間を通る際、足を滑らせてホームから地面に落下したものである。その際、ホーム地面に右肘を強打し負傷した。右肩も上がらない状態となる。	50	1	417	—
14	2017	11	14～ 15	引越現場のお客様宅敷地内の入口付近でダンボールを手に持って運搬中、足元のコンクリートの段差に躓き前方に転倒した。その際右手を地面に着いて右手骨折をした。	20	2	417	10 ～ 29
15	2017	11	16～ 17	敷地内で飼っているヤギを小屋に入れようとして引いていたら、ヤギに引っ張られ転倒して動けなくなってしまった。	51	19	221	30 ～ 49
16	2017	11	11～ 12	惣菜作業場で発生した。惣菜作業場内の洗い場にて、お米が入った容器を洗い終わり、移動しようとしたところ、足元の床が洗い場から飛んだ洗剤を含んだ水で濡れており、足を滑らせた。その結果、後ろ向きに転倒し、右手を床に強く打ち、頭部はトレー置き of 什器にぶつけて負傷してしまった。	47	17	231	50 ～ 99
17	2017	11	10～ 11	会社の駐車場にてトラックから降りる際に、凍っていたステップで足を滑らせてしまい落下して左手首を骨折してしまった。	62	2	221	10 ～ 29
18	2017	10	15～ 16	工場内で集荷中、製品が乗ってるシートパレットをショルダーで引き込み緩衝材とコンパネを入れて積み込む作業を繰り返して最後の製品を入れる時、3枚重ねたコンパネが本人の方へ倒れてきたので後ろ向きで荷台から飛び降りた際右足踵を負傷したものの。	51	3	221	100 ～ 299
				トラックの荷台の上で、ビニールに覆われた鉄パイプ製品の上に乗る、ラッシングを使って鉄パイプの胴巻き作業を行ってい				

19	2017	10	11～ 12	た。ラッシングベルトが斜めにかかっていたが、そのまま荷締めを続けた。そのためビニールとラッシングベルトが滑り、ラッシングベルトが急に外れてしまった。荷物の上でバランスを崩し、前かがみになるように1回転し、背中から転落し、骨折した。	22	1	611	10 ～ 29
20	2017	10	13～ 14	営業所から配送先まで建築資材（幅1m、長さ3m）配送中、積み荷の固定に不安を感じて道端に車両を休止させ荷台上で荷締をやり直していた時、バランスを崩して転倒し、荷台から地面に落下した。その際、体を庇おうと左手を咄嗟に出したため、左手首を負傷した。	62	1	221	10 ～ 29
21	2017	10	19～ 20	配送先の敷地内にて、大型トラックの荷台から積荷降ろしの作業中、荷物を降ろすためトラックの荷台（高さ約1.5m）から地面に飛び降りた際に右足踵を負傷した。	42	3	221	50 ～ 99
22	2017	10	19～ 20	引取先で集荷終了後、最終チェックを行う為、ゲートを半分ほど上げ荷台に上がり、チェック終了後に降りようとした際、段差になっている事を忘れ、荷台とゲートの間に落ちた。	51	1	221	100 ～ 299
23	2017	10	10～ 11	事務所内（2F）にて事務所移転の作業中、2人で台車から机を卸す際相方とのタイミングが合わず右脇腹に机の天板の角が当たってしまった。当初はさほど痛みは無かったが、後日になって痛みが激しくなった。右肋骨骨折が判明した。	56	6	611	10 ～ 29
24	2017	10	13～ 14	自社の車庫にて燃料補給の際に、荷締め状況確認のため荷台の左ウイングと後方のアオリ扉を開けて荷締めを行った。その後にアオリ扉を閉めるとき通常の重さとの違いを感じ、荷台アオリ扉の開閉を補助する金具（アオリバランサー）の故障に気が付いた。金具を定位置に手で戻そうと引いたときに金具が勢いよく跳ね返り手を同時に引っ張られ負傷した。	57	7	221	30 ～ 49
25	2017	10	9～	荷物を積む為にトラックから降りようとした時、ステップから	55	1	221	50 ～

			10	足で滑らせて地面に落ち、背中を打った。					99
26	2017	10	6～7	被災労働者は工場構内で、工場内のワイヤーとロープでつながれている安全帯を装着し、バルク車の天井に乗り、フォークリフトが運ぶトランスバッグ内の飼料をバルク車に入れ終えた際に、当該フォークリフト運転手が、被災労働者の合図がないにもかかわらず、過失によりフォークリフトを後退させたため、当該ロープにフォークリフトのフックが引っかかり、被災労働者はそのため引っぱられ、宙吊りにされ安全帯による圧迫のため、肋骨が折れた。	56	6	222		1～ 9
27	2017	9	5～6	荷をおろすためにトラックの列に並んで待機中、順番が廻ってきたのにトラックを動かさないのを不審に思った会社の同僚がトラックに近づき中を見たら運転席で動かなくなっている被災者を発見した、救急車を呼んで近くの病院に搬送したが急性心筋梗塞により死亡した。	59	90	921		1～ 9
28	2017	9	12～ 13	配送先である構内で荷降し後トラックの荷台で運搬用具の整理中、溝に足がひっかかり地上120cm位の高さの荷台から落下し、左足をねじった。	40	1	221		10 ～ 29
29	2017	9	8～9	構内作業中、クールBOXを移動中、BOXのコマが悪く勢いをつけて、BOXを引いた所勢いがつき過ぎBOXを止めようとした所、左後方に置いてあった他のクールBOXの間で、左手を挟んだものである。	77	7	611		50 ～ 99
30	2017	9	0～1	倉庫で紙袋にはいった石綿をトラックに積み込んで運搬、建設中のビルとか家の工事現場まで行き、トラックに積んだ荷物の石綿を降ろす作業をしていた。	76	90	911		30 ～ 49
31	2017	9	15～ 16	トラックの荷台から前向きに降りる際、ステップを踏みはずし、右足を捻り負傷したものである。	35	1	221		50 ～ 99

32	2017	9	5~6	1階の1号機エレベーターからプラットー（フォークリフト）でパレットを引き出す際、プラットーのマスト部分がエレベーターのドアに接触し、ドアが閉まらなくなってしまったので、パレットを12枚重ねた上に乗りエレベーター上部の隙間をバールで広げようとした際、バールが隙間から外れた反動でパレット（高さ1.7m）から落下、腰を強打し、右座骨を骨折した。	54	1	611	100 ~ 299
33	2017	9	22~ 23	7tのバルク車を運転して飼料の配達後、運転席の脇に置いてあった伝票に気を取られてハンドル操作を誤った。縁石に乗り上げ、電柱にぶつかり停止して、救急車にて搬送された。	57	17	221	10 ~ 29
34	2017	9	9~ 10	牧場にて、飼料タンクに飼料を補充する為、クレーンで飼料を吊った際、ワイヤーが切れて、タンクと飼料に挟まれて腰を打った。	26	4	372	10 ~ 29
35	2017	8	6~7	自動車道下り線にて、前方500~600m先で発生した多重衝突事故による渋滞中、後方車より追突された。	41	17	231	10 ~ 29
36	2017	8	10~ 11	お客様宅へ冷蔵庫を配送し納品する際、窓からの搬入であったため、まず塀を越えるために下側を二人、上側を一人で支えることになり、被災者は上側を担当した。その際、下側と呼吸が合わず、下側が一気に持ち上げたため、その反動を一人で受けとめる形となり負傷した。	48	19	612	100 ~ 299
37	2017	8	8~9	車両の右アオリドアを降ろし、クレーンにて窒素LSボンベ（約200kg）を吊るために作業にかかろうとしたとき、荷台上で足を滑らし地面に落下し、慌てて両手を地面につき、左手首を骨折した。	51	1	212	10 ~ 29
38	2017	8	2~3	工場内で積込み作業が終わり、車両荷台の左側アオリを閉めようと強く持ち上げたとき、右肋骨部分に激痛がはしり、身動きができずにその場で倒れ込んでしまった。病院を受診したところ、右肋骨不全骨折との診断を受けた。	32	19	221	30 ~ 49

39	2017	8	13~ 14	積込先構内で、自社のトラックの横で、荷物仕切り用の発泡の板を地面に10枚ほど重ねた上に載って、トラックの荷台の整理をしようとしたとき、バランスを崩し腰から地面に落下し、転倒して負傷した。	57	1	371	50 ~ 99
40	2017	8	12~ 13	会社内倉庫において、グランドピアノを移動中、バランスが崩れて倒れてきたピアノに足を挟まれ横転した。倒れた際に足と背中に激痛がはしり、そのまま動くことが出来なくなった。	45	7	911	30 ~ 49
41	2017	8	10~ 11	客先の台所より冷蔵庫を搬出した際、玄関の上がり框で足を滑らせてしまい、冷蔵庫の下敷きになり、冷蔵庫を支えていた左手首を骨折した。	58	7	391	30 ~ 49
42	2017	8	17~ 18	取引先工場において、製品の積荷作業を行っていた。台車で製品を運び荷台に載せ、再び製品を取りに行くために荷台からおりようとした際に、誤って足を踏みはずして荷台から落下し、後頭部を負傷した。	55	1	221	10 ~ 29
43	2017	8	8~9	事務所モータープール内でパネルバンセミトレーラー荷台の清掃作業をし荷台から降りる時に、乗降用のはしごを掴み損ねて地上高約3mのところから転落しバランスをくずして、トラックの踊場に落ちその際工具箱に左手を打ちつけて負傷した。	46	1	221	10 ~ 29
44	2017	7	11~12	当日積込を済ませ、会社の倉庫駐車場（会社所在地に同じ）に戻ってきたが、積荷のハウスの窓（引き戸）が気になり、脚立に乗りテープで固定していたところ、バランスを崩した。脚立から飛び降りた際、左足踵を骨折した。	51	3	417	50 ~ 99
45	2017	7	16~17	下り坂を配達後車両に戻るため歩いているとき右足をひねってしまった。平たんな坂道。ひねってから時間が過ぎ痛みが激しくなり右足の甲のあたりが腫れてきた。	48	19	921	30 ~ 49
46	2017	7	2~3	荷卸し作業を開始しようとした直後に、自分のトラックと積み替え車輛との間に30cm位隙間があり、隙間に右足が膝くらいま	26	1	221	100 ~

				で落ち、積み替え車輛の荷台の後ろのステップに右足の親指から落ち、右足の親指を末骨骨折した。				299
47	2017	7	19~20	営業所において荷物の積載をしている際、トラック左後方で待機していたところに積載作業中フォークリフトの左後方と接触して負傷した。	45	6	222	10 ~ 29
48	2017	7	19~20	支店の構内で家具類の梱包作業を終えて、梱包した家具類に貼付する伝票が接車バースに駐車してあったトラックの助手席に置いてあったために伝票を取りに行くためにプラットホームから降りる時に階段を使用せずに階段の無い所から、飛び降りてしまい駐車してあったトラックの後方扉に付いているレバーに左側腹部を強打してしまい左側腹部肋骨を骨折してしまった。	48	3	221	100 ~ 299
49	2017	7	15~16	顧客先に於いて移動させていたラック（高さ170cm、横100×80cm、重さ20kg）が段差で傾いたので支えようとした処、左脚がラックの格子の間に入り込んでしまい受傷したものの。	46	7	362	1~ 9
50	2017	7	7~8	朝の積み込み作業中、ステップに登り荷台に積まれた空箱を下ろし、ステップから地面に降りようと右足を下ろした。その際、右足が着地する前に左足の動作も開始してしまい、バランスを崩し転倒。左肘をコンクリートの地面に強打した。	40	1	413	30 ~ 49
51	2017	7	18~19	被災者は会社の駐車場にてトラックから降りて地面に着地した際、右足膝を痛める。	48	19	417	10 ~ 29
52	2017	6	8~9	アパート2階からモッコを使い整理ダンスを搬出し終わった後に、鎖骨の辺りに違和感を感じた。	46	19	611	30 ~ 49
53	2017	6	3~4	物流センター内の冷凍庫内にて、パレットの上に食料物品箱（約10kg）を繰り返し載せる作業をしたところ、膝を受傷した。	49	19	611	100 ~ 299

54	2017	6	14～ 15	荷卸現場にて、立て掛けていたガラスが（200kg）倒れてきて、それを支えようとし、後ろにのけ反った際、後ろにあったポールに腰を強打した。	41	5	529	10 ～ 29
55	2017	6	14～ 15	荷降し先にて、トラックの荷台からパレット積の段ボール製品を取り出していたところ、パレットとローラーに薬指を挟まれ、第一関節部を深く切傷し骨折した。	51	7	221	30 ～ 49
56	2017	6	8～9	現場にて内装材の納品中、中腰で荷物を持って立ち上がろうとしたところ、急に腰に激痛がはしり、その後、痛みが止まらなくなった。	26	19	611	50 ～ 99
57	2017	6	10～ 11	引っ越し作業で、アパートの2階より衣装ケースを持って階段を下りようとした際に、足を踏み外して階下に落ちてしまった。	31	1	413	10 ～ 29
58	2017	6	16～ 17	トレーラー荷台から降りようと昇降台に足を掛けた時、足を踏み外して地面に転落した。転落の際に、右肘が最初に地面に着いた為、右肘脱臼骨折を受傷した。	52	1	221	300 ～ 499
59	2017	5	8～9	道路構内において、10tダンプの荷台の上で積荷に合材シートを掛けている時に、荷台後部にてしゃがんでシートを伸ばす時に後方を確認せずに作業をしていたため、後方にバランスを崩し荷台から落下し、背中、腰を強打した。	50	1	221	30 ～ 49
60	2017	5	23～ 24	工場内にて、配送商品をラインからトラックに積み込む作業の際、通常使用するラインが別の作業により使用出来なかった為、隣接するラインより積み込みをしようと、商品の入ったケースを当該ラインのローラーに引っ張り上げた時に、左肩より異音がすると同時に激痛が走った。すぐに痛みが治まったため作業を続行したが、その後も患部の違和感が解消せず、左肩腱板損傷と診断された。	43	19	611	30 ～ 49
			13～	集品作業中、商品が積載されたカートを引っ張った際、カート				30

61	2017	5	14	の車輪で右足（安全靴のガードが無い部分）を轢いて負傷した。	28	7	362	～ 49
62	2017	5	7～8	取引先の構内で荷下ろしをする前に、荷台の後部に空きスペースがあるかを確認するため、荷台前方の梯子を使いアオリ最上部まで登り後方を確認中に足を滑らせ、地面に背中から落下してしまった。	39	1	221	50 ～ 99
63	2017	5	7～8	店舗駐車場において、荷物を降ろすため荷台のシートを剥がしている時、腰部を負傷した。	60	19	921	10 ～ 29
64	2017	5	10～ 11	ドラム式洗濯機を納品している際に、高さ上げの部材が必要となった為、車輻に取りに戻る。車輻まで走って戻っている時に、道路の側溝の蓋（金属製）部分で足を滑らせて後方に転倒し、右背中腰部分を地面に打った。なお、当日は雨が降っていた。	20	2	417	30 ～ 49
65	2017	5	14～ 15	作業の為、宿に車両を置き、作業現場に向かう為駐車場に入り、運転席より降りる際にくぼみがあるのに気付かず降りたところ、左足首をひねり痛みを感じ、その後、左足首にひびが入っていることが分かった。	25	19	231	50 ～ 99
66	2017	5	15～ 16	当社敷地内にある洗車場にて車両を洗車中、車両フレームの汚れを落とすため荷台を上げフレームの上に登り洗車機で洗車中に足を滑らせ、左腕からフレームの上に落ちた。	49	1	221	30 ～ 49
67	2017	4	14～ 15	集荷先会社の出荷口前にトラックを止め、荷物をトラック庫内へ移動し、積んでいる時、荷物の積み込み時立てかけていたパレットが左足の親指付け根辺りに倒れ下敷きになった。通常はつま先部分に金具がある安全靴を履いて作業するが、集荷先会社の取り決めで、集荷先会社指定の上履きに履き替え作業していた。	48	5	529	50 ～ 99
				店に到着後トラックより降り、車の後方に周りパワーゲートに				

68	2017	4	13~ 14	<p>乗り上昇し庫内へ入り、荷物を降ろす準備をしパワーゲートに荷物は載せず車から降りようとパワーゲートに乗って降りている途中、パワーゲート左側の油圧シリンダーが破損していた（目視での点検作業では分からない）ことでオイルが抜けて圧力がなくなり、パワーゲートが下の地面（30cm~40cm）に落下した。</p>	46	1	221	50 ~ 99
69	2017	4	6~7	<p>物流センター内で、配送に出る前の準備段階にて車両に積み込む商品（チルド・ドライ食料品）の検品作業を行い、車両内に商品を積み込む為、右側の商品を積んであったパレットから左側に置いた手押し台車に一旦載せ替える作業を、いつもと同じように繰り返し行っている最中に右胸の痛みが発生した。特に胸部分に商品をぶついたり、台車と衝突した訳では無いので様子を見たが、数日経過しても痛みが全く引かず、右肋骨疲労骨折だと分かった。</p>	43	19	611	10 ~ 29
70	2017	4	8~9	<p>客先付近交差点を左折し、300m程走行した場所にて車を停車し、納入するまで時間があったので製品（鋼材）にかけてあるシートをめくる引き続き作業を行っていた際、製品上にて（高さ約1.2m）足を踏み外したため荷台上へ落下し、製品に右側の背中を強打し、肋骨4本を骨折した。</p>	67	1	611	10 ~ 29
71	2017	4	8~9	<p>トラックの荷台に乗り、荷物の整理をし荷台に向かった状態でステップに左足をかけたところ踏み外し、勢いよく転落して構内の柱に腰を打ち、左手に重心がかかった状態で地面についたことで左腕尺骨と橈骨を骨折、腰は打撲を負った。</p>	59	1	221	30 ~ 49
72	2017	4	8~9	<p>トラック荷台より荷降ろし中にバランスをくずし、約1.5m下地面に落下し、右手首・肘・肩を強打し、右肘を骨折した。</p>	41	1	221	10 ~ 29
				<p>トラックターミナル内で、トラックの荷台上で配送する荷物（陶器性の便器が入った段ボール、1つあたり約40kg）を積み</p>				10

73	2017	4	6~7	上げる作業をしていたところ、腰にビリビリと痛みがはしり、 痛みで状態を反らしたときに首にも激痛がはしり動けなくなっ た。	47	19	921	~ 29
74	2017	4	6~7	飼料バルク車から飼料タンクへ荷卸し作業中、タンクのはしご から下りる際、安全帯を外した後に右手を滑らせ地面へ落下 し、頭・背中・腰を強打した。	55	1	391	~ 99
75	2017	3	8~9	店のホーム上で荷卸作業中、壁にたてかけていた金網（荷物） が倒れ、作業していた当該運転手の左ふくらはぎに直撃し、左 下腿挫創のケガを負った。	34	5	611	10 ~ 29
76	2017	3	11~12	トラック荷台内で荷降作業をしている際、コンパネ板で仕切っ ていた奥へ荷物が入った。その荷物を取り出すためパレットに 積んでいた高さ60cmくらいの鉄製の荷物を足場にして取り出し たあと足場から降りるとき、パレットの辺に右足が引っ掛か り、足首を捻挫した。	32	3	419	10 ~ 29
77	2017	3	15~16	階段作業中、バランスを崩し荷物を支えようとした際、足を捻 り転倒する。	24	2	413	30 ~ 49
78	2017	3	13~14	工場内で荷物を降ろし、車上を整理して車から降りようとし、 後部ドアからリヤバンパーに足を掛け下に降りようとした時に 足が滑り、地面に転倒した時に右手でかばったため、右小指を 骨折した。	65	1	221	10 ~ 29
79	2017	3	11~12	トラックの荷台に荷物を積み荷台にシートをかけている際に、 足をすべらせ荷台から転落し、足を骨折した。	65	1	221	30 ~ 49
80	2017	3	13~14	客先にて荷降ろし中、トラック荷台上で、高く積んでいた荷を 降ろそうとした際、手を滑らせて頭の上に落としてしまった。	43	4	611	30 ~ 49

81	2017	3	17~18	<p>配送する商品を積み込むため、トラックでメーカーに赴き、倉庫担当者と断裁機（重量約500kg）をハンドリフトを使って積み込む際、二人でトラックのパワーゲートに載せたあと、自分は商品を支え、倉庫担当者に地上でリモコンを操作してもらいゲートを上げたところ、その振動でバランスを崩し、断裁機ごと約40センチの高さから落下し、左足首が下敷となり受傷した。</p>	37	4	156	10 ~ 29
82	2017	3	5~6	<p>積荷降ろしの作業中に2段積みで仮置きされた出荷パレットの下段のパレットを検品するために、フォークリフト作業員に上段パレットを下ろす作業をしてもらった。その際、上段パレットをフォークリフト作業員が持ち上げ後退してきたことに気づかず、後方にフォークリフトが旋回した際にパレットが腰部に接触し負傷した。</p>	51	3	222	1~ 9
83	2017	3	5~6	<p>当社構内で駐車した車両の助手席に置いた荷物を取るため、運転席側のドアを開け、ステップにのった状態で体の中に入れ、荷物を取ろうとした際、荷物が運転席内に引っかかりバランスを崩し、ステップより転落し負傷した。</p>	48	1	221	50 ~ 99
84	2017	3	8~9	<p>敷地内にて玄米（60kg袋）をシートパレットよりパレットへの移し替え作業をしていたとき、上部に積んである玄米が不安定な状態になったため、手直ししようと思い荷台へ上がり、中腰の体勢で押し込んでいたところ、最上部の1袋がずり落ちてきたため、手で受け止めようとしたが、バランスを崩し、後方へ転倒した。ヘルメットを着用していたが転倒の際に外れ、あおりレール部に頭をぶつけて頭蓋骨骨折し、荷台から地面に落下して左鎖骨を強打骨折した。</p>	44	1	221	10 ~ 29
85	2017	2	18~19	<p>団地（集荷先）より荷物を積み込んで出発し、納品先へ到着後、荷降ろしの為、運転席より外へ降りた時に右足が滑って倒れた。</p>	44	1	221	10 ~ 29

86	2017	2	9~10	土台代引を車の横に置いて、その横を通っていた時、左足が金具に引っかかり転倒し、左足の膝下辺り、5cm程深く切り、縫った。	49	2	522	30 ~ 49
87	2017	2	8~9	積み込み場所にて、トラックに荷物を積み込む際にトラックの荷台に乗ったところ荷台が濡れていたため足が滑り荷台から転倒し、右肘を負傷した。	40	2	221	—
88	2017	2	10~11	トラック荷台へ乗り込もうと、荷台後方の両扉を開け、荷台の上に両手をつき、右足を荷台枠（鉄製）へ掛けたところ、靴底が濡れていたために、鉄の上で滑ってしまった。後ろ向きで落下した際、右手でバランスをとろうと地面に手をついたところ、右手のひらの舟状骨を折ってしまったものである。	29	1	221	1~ 9
89	2017	2	5~6	上がり線で運転中、衝突事故を起こし停止していた大型貨物車に追突し負傷した。本人意識不明の為詳細不明。過失割合、本人：相手、10：0。	51	17	221	10 ~ 29
90	2017	2	11~12	引越作業中に荷物を持って階段を下りていたところ、急に人が現れたので慌てて避けたら足をひねり、階段から落下した。	26	1	413	10 ~ 29
91	2017	2	19~20	社内倉庫内にてトラックに配送物を積み込む作業中、高さ70cmの荷台に飛び乗ったところ、着地に失敗して右足をひねり、同時に右ふくらはぎに肉離れを起こした。	46	3	221	—
92	2017	2	17~18	夕方、運行から車庫に戻り、トラック荷台内の道具類を整理していた。荷台前部付近にコンパネを5枚重ねて置いてあったが、別の道具類を置くスペースを空けようとして、右足でコンパネを押して滑らせようとした。結果、自分が思っていた以上にコンパネが滑ってしまい、その反動で両足が股裂きの状態となり床面に着いて転倒した。その際、左大腿部内側に痛みを感じた。後日、病院へ検査に行ったところ、「左大腿筋断裂」と診断された。	38	2	221	10 ~ 29

93	2017	1	11~ 12	自社整備工場内に於いて、脚立を使い棚からグリースを取ろうとしたところ、脚立から足を踏み外し、立った状態で降りた為に右膝を負傷した。	56	1	371	30 ~ 49
94	2017	1	10~ 11	荷卸し先の倉庫内にて、断熱材（60×40×185cm・20kg）100本を手降ろし（5×6本）で組んで積み上げている時、最上段（6段目）に上げる際、腰に痛みがはした。	38	19	529	10 ~ 29
95	2017	1	8~9	荷台に2段に積んだコンクリート製品をおろすため、製品にワイヤーをかけるため2段目に上ろうと手をかけたところ、凍結しており手が滑って、そのまま左の肩を下にして地面まで落下し、左肩を強打した。	57	1	221	50 ~ 99
96	2017	1	7~8	建設現場において、トラックから荷卸しをする際、シートを外す為ゴムを取ろうとした時に、足元が凍っており、左側に転倒した。	36	2	417	30 ~ 49
97	2017	1	15~ 16	荷卸し作業中にトレーラー荷台より転落し、敷きゴムのある床面に左側面（頭部ヘルメット着用、顔、脇腹、足）を打ちつけた。	34	1	221	100 ~ 299
98	2017	1	6~7	事業所内でトラックから荷締めをほどいていたところ原木が落下してきた。ヘルメット着用有り、固縛ワイヤロープをチェーンブロックで荷締めをほどいていた時に厘木（長さ400、重さ10kg）1本が落下した。しびれが有る。後遺症が残るという話はない。	50	4	611	1~ 9
99	2017	1	6~7	得意先の2F事務所から階段で下りる時、下から10段目あたりで転び、5~6段落ちて、右膝を強打した。そのあと車で配達に出たが、痛みには耐えられなくなり、同僚と交代した。後日に膝の皿を骨折していることが判明した。	48	1	413	10 ~ 29
100	2017	1	16~ 17	鉄骨を、トラックに積込中、フォークマンと本人の息が合わず、鉄骨の間に右薬指をはさみ負傷した。	45	7	611	30 ~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。